

現地説明会・発掘体験を行いました。

松下遺跡(2次)現地説明会



(都城市)参加者数79名  
平成30年12月15日(土)

調査担当が、  
竪穴住居跡や溝  
状遺構、出土遺物  
について説明し  
ました。地元を中  
心に多くの方々  
に参加していただ  
きました。

みやざきの古墳保護・活用事業『古墳巡り』



(宮崎市)参加者数25名  
平成30年12月15日(土)

広瀬西小学校  
区地域づくり協  
会との共催で『古  
墳巡り』を実施し  
ました。校区内  
にある広瀬村古墳  
を知るよい機会  
となりました。

塚原遺跡発掘調査報告会



(国富町)参加者数46名  
平成31年2月3日(日)

調査担当が  
現地での写真や  
出土した遺物を  
もとに平成27～  
29年の発掘調査  
の成果を報告し  
ました。地元住民  
の方々が多参加  
されました。

出前講座・出前展示に申し込みませんか？

宮崎県埋蔵文化財センターでは、職員が土器や石器などの遺物を持参し、学校や団体の皆さんに、地域・周辺の歴史についてお話しする「出前講座」を行っています。また、本物の土器や石器、解説・写真パネルなどの「出前展示」のご希望にもお応えします。いずれも、費用はかかりません。日程調整や準備に時間が必要なため、普及資料課までご相談ください。

本物の土器や石器を学校向けに貸し出す「学習キット」もご利用ください。  
連絡先：宮崎県埋蔵文化財センター分館 普及資料課 Tel. 0985-21-1600



出前講座(木城小学校)



出前講座(五十市中学校)



道づくりを考える女性の会での出前展示

平成31年度普及事業のお知らせ

※事業の日程、内容についてはやむを得ず変更することがあります。ホームページ等で事前にご確認ください。

埋蔵文化財講座 第3日曜日13:30より 参加無料・申込不要  
「ここまでわかったひむかの歴史」

近年報告書が刊行された遺跡や本県の重要な遺跡について担当者が講演します。

- 場所：分館(宮崎市神宮)
- 5月19日(日) 横市川をのぞむ弥生の暮らし 平田遺跡(都城市)
  - 6月16日(日) 古墳群をのぞむ集落 青木遺跡(高鍋町)
  - 7月21日(日) 弥生時代 山の民の暮らし 平第2遺跡(日之影町)
  - 1月19日(日) 山裾に広がる縄文集落 嫁坂遺跡(都城市)
  - 2月16日(日) 塚原台地に生きた人々 塚原遺跡(国富町)
  - 3月15日(日) 歩いてわかった宮崎の古墳 みやざきの古墳保護・活用事業

施設公開「埋文センターで考古学体験」  
埋文センターを知っていただくイベントです。参加無料 申込不要  
石器レプリカ作成など様々な体験ができます。  
場所：分館(宮崎市神宮) 日時：11月2日(土)10:00～16:00

移動展示会「土器と石器がやってきた!埋文セレクション」  
埋文センター所蔵の遺物から逸品を選んで各地で公開する企画です。講座や解説もあわせて実施します。

都農会場 場所：都農町中央公民館 申込みは 都農町中央公民館まで  
要申込み 期間：6月23日(日) TEL0983-25-5725

延岡会場 場所：延岡市立図書館 観覧無料  
期間：7月30日(火)～8月25日(日)  
関連講座：8月4日(日)

日南会場 場所：日南市生涯学習センターまなびピア 観覧無料  
期間：10月1日(火)～10月15日(火)  
関連講座：10月6日(日)

新富会場 場所：新富町総合交流センターきらり 観覧無料  
期間：11月19日(火)～12月15日(日)  
関連講座：11月24日(日)

分館テーマ展示  
神宮の分館では常設展示の一部を季節ごとに入れ替え、平成31年度は4回テーマ展示をおこないます。

- 春の展示「埋文講座関連展示①」
- 夏の展示「埋文講座関連展示②」
- 秋の展示「埋文講座関連展示③」
- 特別展示「県内の古墳調査の成果展」

遺跡発掘成果展2019 観覧無料

尾花A遺跡・次郎左衛門遺跡・妙見遺跡など、児湯・県西で調査を行った遺跡の資料を中心に展示します。

場所：県立図書館特別展示室  
期間：8月31日(土)～9月23日(月)

遺跡発掘速報会 参加無料・申込不要

前年度までに発掘調査を実施した遺跡の速報講演会です。

場所：県立図書館視聴覚室  
日時：9月1日(日) 13:30～16:30  
報告遺跡：坪谷城、松下遺跡、(予定) 大浦遺跡、小迫遺跡など

宮崎県埋蔵文化財センター通信 ひむか 21号 発行：2019年3月22日 編集・発行：宮崎県埋蔵文化財センター



http://www.miyazaki-archive.jp/maibun/  
本館 〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂4019 Tel.(0985) 36-1171 (総務課)  
Tel.(0985) 36-1172 (調査課)  
分館 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4-4 Tel.(0985) 21-1600 (普及資料課)

※写真及び記事等の無断転載は御遠慮ください。



宮崎県埋蔵文化財センター通信

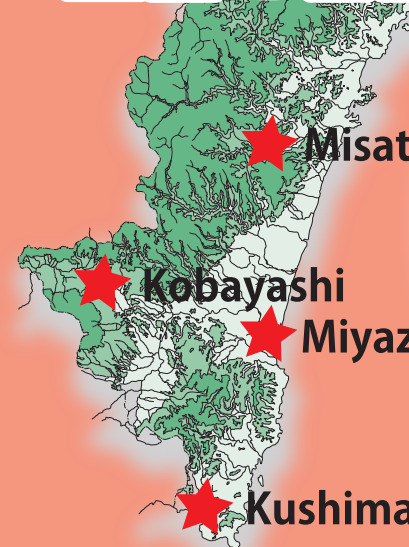
21号



宮崎県埋蔵文化財センターは、宮崎県教育委員会に所属し、県内各地における発掘調査や文化財の保護、教育普及活動に取り組む機関です。1982年の設立以来、県内各地で発掘調査を行い、出土した膨大な考古資料の収蔵管理を行っています。

平成30年度の移動展示会は、埋蔵文化財センター所蔵資料の中から選りすぐりの逸品や地域に関連する資料で構成し、広く県民の皆さんに郷土の歴史に触れていただくことを目的に県内4か所で開催しました。今後も県内各地での移動展示会を企画してまいります。ご期待ください。

移動展示会  
土器と石器がやってきた!埋文セレクション



平成30年度は県内4会場で開催しました。

- ① 美郷会場 西の正倉院附属棟  
平成30年 5月3日・4日
  - ② 宮崎会場 宮崎大学附属図書館  
平成30年 6月5日～7月1日
  - ③ 串間会場 串間市中央公民館  
平成30年 7月23日～8月24日
  - ④ 小林会場 小林市役所  
平成30年 11月18日～12月1日
- ご来場ありがとうございました



小林会場

宮崎会場

美郷会場

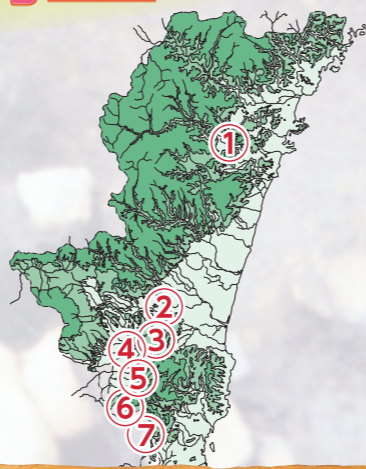
串間会場

宮崎県埋蔵文化財センター

MIYAZAKI PREFECTURE ARCHAEOLOGICAL CENTER

# 平成30年度の発掘調査

宮崎県埋蔵文化財センターでは、平成30年度に県内7か所で発掘調査を実施しました。今年も、いにしえの人々が使った道具(遺物)や生活の跡(遺構)など、郷土宮崎の歴史を語る貴重な資料がたくさん見つかりましたので調査結果を速報でご紹介します。出土遺物や記録した遺構は、今後埋文センターで土器の接合や製図などの整理作業をすすめ、報告書にまとめていきます。



## ① 坪谷城

日向市東郷町  
調査期間: 2018年10月9日~2019年2月8日

坪谷城は、伊東48壘の一つに数えられる戦国時代の山城跡です。城主とめらきゆうすけしげときまつおしもうさのかみして、米良休助重時、松尾下総守などの名が伝わっています。

今回の調査は、砂防事業に伴って行われたもので、城郭の主要部分については対象とはなりませんでしたが、堀切や曲輪の一部などがみつかり、16世紀後半の時期の青花(中国で作られた染付)や青磁などの輸入陶磁器、刀装具である筭などが出土し、戦国期の日向を考える上で貴重な資料となりました。



堀切跡

## ② 小松尾遺跡(2次)

都城市乙房町  
調査期間: 2018年5月28日~2018年10月3日

小松尾遺跡は、都城市月野原台地東端に位置します。調査の結果、中世以降の溝状遺構5条、中近世の土坑1基、近世の畝跡がみつかりました。溝状遺構は、詳細な時期は不明ながら、床はほぼ平坦で、所々に硬化した箇所があることから、道路の機能を有していた時期もあると考えられます。遺物は青磁碗、砥石、軽石製品、鉄滓などが出土し、当時の人々の生活の様子を考える上で、貴重な資料となりました。



中世以降の溝状遺構

## ③ 松下遺跡(2次)

都城市志比田町  
調査期間: 2018年9月25日~2019年1月25日

松下遺跡は、都城市月野原台地と横市川流域に広がる低地の間に形成された河岸段丘面に位置しています。

調査の結果、弥生時代終末期の竪穴住居跡1基、中世の溝状遺構1条がみつかりました。竪穴住居跡は、縦6.2m、横5.8mで、上から見ると凸の形をしています。溝状遺構は、幅約2m、深さ約1.6~1.9mで、ほぼ東西に延びています。竪穴住居跡からは、甕・壺・高坏などの弥生土器や石器が出土しています。



竪穴住居跡と溝状遺構

## ④ 保木島遺跡(3次)

都城市梅北町  
調査期間: 2018年5月9日~2018年8月9日

保木島遺跡は、都城市南西部の金御岳から延びる丘陵の尾根筋から谷に向かう傾斜地に位置しています。本年度の調査は、昨年度の2次調査に続いて行いました。調査の結果、主に縄文時代早期の集石遺構や陥し穴状遺構、炉穴などの遺構が確認されました。また、出土例の少ない妙見・天道ヶ尾式土器の深鉢や耳栓(土製装飾品)、石器(打製石鏃・石匙・剝片)などの遺物が出土しています。



縄文土器(深鉢)

## ⑤ 上高遺跡(2次)

都城市梅北町  
調査期間: 2018年4月11日~2018年7月4日

上高遺跡は、保木島遺跡の南約2kmに位置し、昨年度行われた1次調査の隣接地にあたります。今回の調査で確認された遺構としては、縄文時代の竪穴住居跡、縄文時代早期の集石遺構や土坑があります。みつかった土坑の中には、深さ約1.8mと大変深いものもありました。また、縄文時代早期から晩期にかけて多数の土器片や打製石斧などの石器が出土しています。調査区の南西側に続く尾根筋に沿って集石遺構や土坑が分布していることから、調査区周辺に集落が広がっていたと思われます。



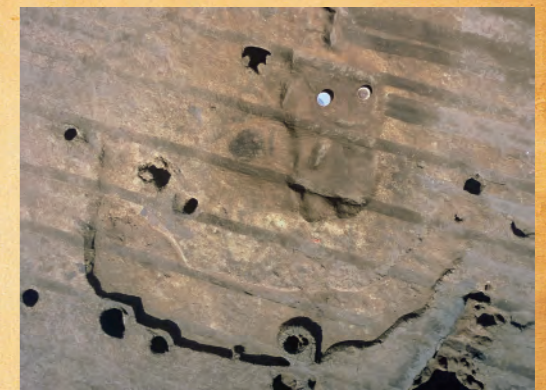
土坑と竪穴住居跡

## ⑥ 大浦遺跡

都城市梅北町  
調査期間: 2018年6月25日~2018年10月26日

大浦遺跡は、都城市の南西部に位置し、金御岳の麓に広がる標高約200mのシラス台地上に所在します。遺跡の範囲のうち、深く入り込んだ谷地形に面した緩やかな南側の斜面地部分を調査しました。

その結果、縄文時代後期後半ごろの竪穴住居跡1軒をはじめ、鎌倉~室町時代の掘立柱建物跡7棟といった遺構や遺物の存在が確認されました。特に、円形に溝をめぐらせた土坑墓(円形周溝墓)は、宮崎県下における平安時代のものとしては数少なく、重要な発見例となります。



白磁と土器が副葬された円形周溝墓

## ⑦ 小迫遺跡

都城市梅北町  
調査期間: 2018年8月16日~2019年3月22日

小迫遺跡は、都城市の南西部に位置し、金御岳から鹿児島県との県境付近へと延びる標高約190mの細長い丘陵上に所在します。

今回の調査で注目されるのは、縄文時代中期後半~後期前半を中心とする集落跡の存在が明らかとなったことです。遺構には、竪穴住居跡40軒や土坑60基をはじめ、調理のために石を用いた炉の跡も2基みつかりました。遺物には、線や点で描かれた複雑な文様の特徴的な宮之迫式土器などの縄文土器が数多く出土しています。



楕円形に掘りこまれた大型の竪穴住居跡